

平成25年4月5日

各 位

会 社 名 株式会社マネーパートナーズグループ  
 代表者名 代表取締役社長 奥山 泰全  
 (コード番号：8732 東証第二部)  
 問合せ先 取締役 C F O 中西 典彦  
 (TEL. 03-4540-3804)

### 平成25年3月次 月次概況（速報）のお知らせ

平成25年3月次の当社グループの月次概況（連結ベース）を下記のとおりお知らせいたします。なお、営業収益及び外国為替取引預り証拠金は速報値であるため、決算発表時の数値と異なる場合があります。

#### 記

年 月	平成24年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
営業収益 (単位：百万円)	508	652	638	485	522	596	396	412	404	482	539	542
外国為替取引高 (単位：百万通貨単位)	53,593	78,387	112,254	80,325	83,691	100,449	84,479	81,991	78,794	83,547	105,437	113,982
顧客口座数 (単位：口座)	184,260	186,877	189,570	192,007	194,315	196,680	199,051	201,086	203,125	204,938	206,375	207,859
外国為替取引預り証拠金 (単位：百万円)	37,732	36,935	39,034	41,341	43,321	42,495	43,576	43,005	42,796	41,718	41,219	41,929

年 月	平成25年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
営業収益 (単位：百万円)	639	531	336									
外国為替取引高 (単位：百万通貨単位)	225,359	231,130	146,144									
顧客口座数 (単位：口座)	210,010	212,103	213,850									
外国為替取引預り証拠金 (単位：百万円)	42,139	40,774	39,325									

- (注) 1. 外国為替取引高は、顧客との相対取引による通貨毎の取引高を原通貨単位のまま合計したものであり、円換算は行っておりません。  
 2. 顧客口座数及び外国為替取引預り証拠金は、それぞれ月末時点の口座数及び残高であります。  
 3. 平成20年5月より代用有価証券の取扱いサービスを開始し、外国為替証拠金取引に使用できる代用有価証券の預り残高が発生しておりますが、現時点では外国為替取引預り証拠金の残高と比べ重要性が小さいため記載を省略しております。  
 4. 平成20年6月から平成25年2月まで外国為替証拠金取引システムのホワイトラベル提供に伴う実績数値が発生しており、当該数値を以下のとおり取り扱っております。

- (1) 営業収益 : ホワイトラベル提供に伴うトレーディング収益を含めて表示しております。なお、当該収益の会計処理は、当社グループ会社をカウンターパーティとする外国為替取引に係るトレーディング収益を営業収益として全額計上した上で、当社グループ会社からホワイトラベル提供先に対して支払うべき外国為替取引に係る手数料を販売費・一般管理費に計上する方法によっております。なお、ホワイトラベル提供に伴うトレーディング収益と当社グループ顧客との外国為替証拠金取引に伴うトレーディング収益を区分することができないためこれらを区分しておりません。
- (2) 外国為替取引高 : ホワイトラベル提供に伴い発生する当社グループ会社をカバー取引先とする外国為替取引を含めて表示しております。なお、当該取引高は提供先の重要情報に該当するため区分して表示していません。
- (3) 顧客口座数 : ホワイトラベル提供に伴う口座数は含まれておりません。
- (4) 外国為替取引預り証拠金 : ホワイトラベル提供に伴い発生する当社グループ会社がカバー取引先として受け入れる預り証拠金を含めて表示しております。なお、当該金額は提供先の重要情報に該当するため区分して表示していません。

5. 平成21年7月より株式会社大阪証券取引所の開設する取引所外国為替証拠金取引（愛称「大証FX」）のマーケットメイカーとしての業務を開始しており、大証FXにおける取引高及びこれに伴うトレーディング収益はそれぞれ「外国為替取引高」及び「営業収益」に含めて表示しております。
6. 平成23年8月より差金決済取引（CFD）の取扱いを開始しており、CFDにおける預り証拠金、取引高（原取引単位を米ドルに換算）及びこれに伴うトレーディング収益はそれぞれ「外国為替取引預り証拠金」、「外国為替取引高」及び「営業収益」に含めて表示しております。

#### < 3月次の概況 >

3月の外国為替市場は、米ドル/円については、1ドル=92円台後半で取引が始まり、8日の米雇用統計が予想を上回ったこと等から96円半ばまでドル高円安が進展し、その後月半ばにかけてドル高水準が継続したものの、月後半にはキプロス問題の表面化等から円高基調に転じ、94円台半ばで月末を迎えました。米ドル/円の変動率は、変動率が高い水準であった1月、2月から大きく低下しました。また、米ドル/円以外の主要な取扱い通貨である欧州・オセアニア通貨についても、概ね米ドル/円と同様の相場展開となり、米ドル/円を含めた全体としての変動率は1月、2月の水準を下回っております。

このような状況の中、外国為替取引高は、変動率の低下に加え月の後半には前月まで急ピッチで進展した円安への警戒感やイースターホリデーを前に相場様子見の動きも見られたことから前月比約37%減少の146,144百万通貨単位となりました。一方、営業収益は、相対的に取引高当たり収益性の低い米ドル/円の取引高割合が増加したことや、特にユーロ/円で顕著になっているインターバンク市場におけるスプレッドの拡大の継続等により全体の取引高当たり収益性は前月並みの水準にとどまったことにより、前月比約37%減少の336百万円となりました。また、顧客基盤については、これまで円安一方向に動いてきた相場に一服感が生じたこと等から前月までの増勢は一服し、顧客口座数は前月比1,747口座増加の213,850口座となり、外国為替取引預り証拠金は前月比1,449百万円減少の39,325百万円となりました。

なお、平成25年3月期の決算数値は、現在集計中ではありますが、未集計のものを含め当社が合理的であるとする一定の前提に基づき試算を行った結果によれば、楽天証券㈱へのホワイトラベル提供終了以降（平成25年2月17日から平成25年3月31日まで）の損益の状況は、経常損益の段階で黒字を確保できているものと見ております。但し、これらの試算結果は、決算数値と異なる場合があります。また、当社は試算の基礎となる一定の前提についての合理性を保証するものではありません。

以 上